

へるす・りさーち No.38

名古屋市衛生研究所

コロナ禍での感染症の状況をみてみよう！

名古屋市にある某大学では経済学部4年生のケン太くんと医学部4年生のエイ子さんの二人が、テニスサークルの活動後に喫茶店で休憩しています。そこに同じテニスサークルのOBで名古屋市の衛生研究所で公衆衛生医師をしているDr. Kさんが加わりました。ちょっと3人の会話に耳を傾けてみましょう。

ケン太くん 今日テニスをやっている時はマスクをしていないから春の風が頬に当たってすごく気持ちよくやれたよ。

エイ子さん そうね。テニスをしている時はマスクがないほうが呼吸もしやすくて楽よね。

Dr. K テニスをやっている時は密にならないしマスクは外していてもいいけど、テニスが終わったらまたマスクをしなきゃダメよ。

ケン太くん はい、わかっています。去年は一年中マスクをしていたからかわからないけど、家族みんな風邪ひとつひかなかったよ。

エイ子さん あ、うちも去年は家族のだれも風邪ひとつひかなかったわ。やっぱりマスクのおかげなのかな？

Dr. K 去年はコロナ禍だったし、マスク、手洗い、う

がい、それから3密回避、巣ごもりで人と人との接触機会が一昨年までより極端に減ったわよね。そういう感染防止策が影響して風邪をひく人も減ったでしょうし、去年のコロナ禍での名古屋市の感染症の数はそれまでと随分と違ったものになったのよ。

エイ子さん K先生って名古屋市の衛生研究所で働かれていますよね？

Dr. K そうよ。所内の感染症情報センターでは、毎週名古屋市内の病院やクリニックから保健所に報告されてくる感染症の情報をまとめて表やグラフにして市民向けに公表しているの。

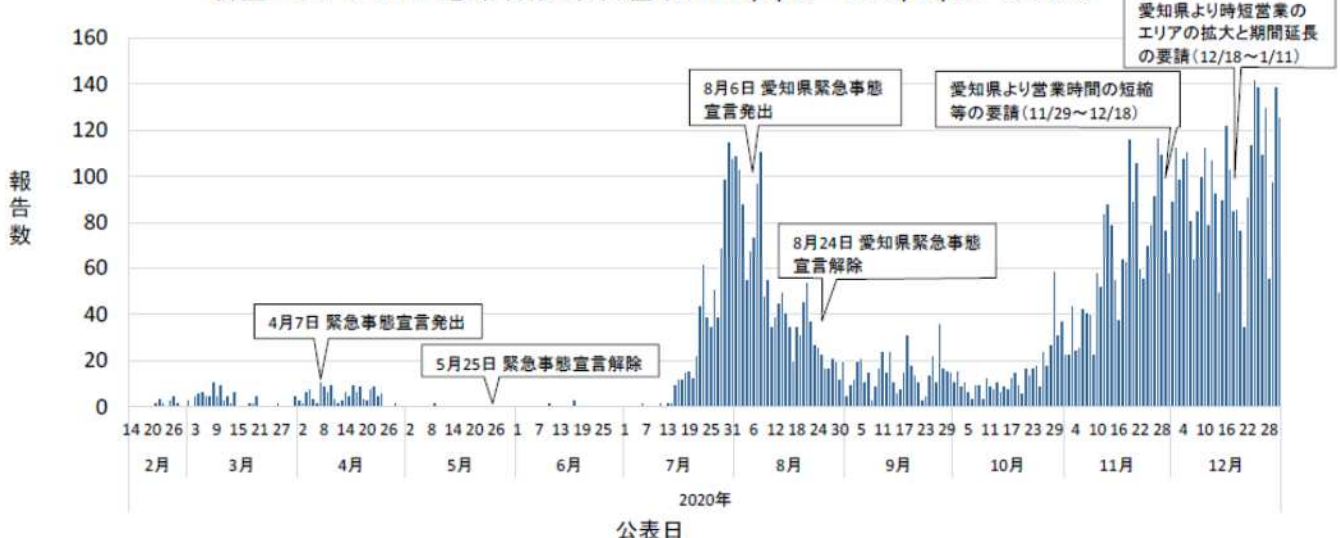
エイ子さん だから去年の名古屋市の感染症の流行状況とかがわかるわけですね。

Dr. K そうなの。昨年一年間分をまとめて折れ線グラフにして、過去数年分と比較したものも作成してあるから一緒に見てみましょうか。

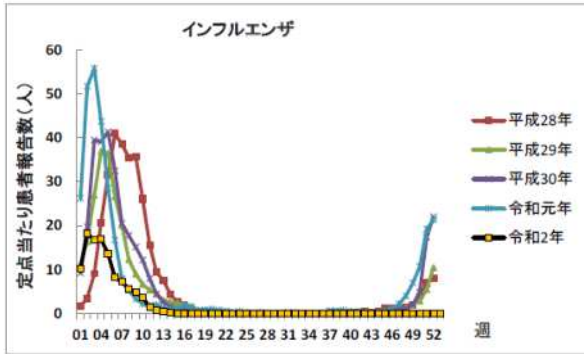
エイ子さん はい。

Dr. K まずはなにより新型コロナウイルス感染症のグラフからね。夏場と冬場に急激に感染が拡大したことが見てとれるわね。

新型コロナウイルス感染者数(名古屋市:2020/2/14~2020/12/31 8353人)



Dr.K 次は、例年冬に流行するインフルエンザね。令和2年は黄色の点よ。エイ子さんどう？

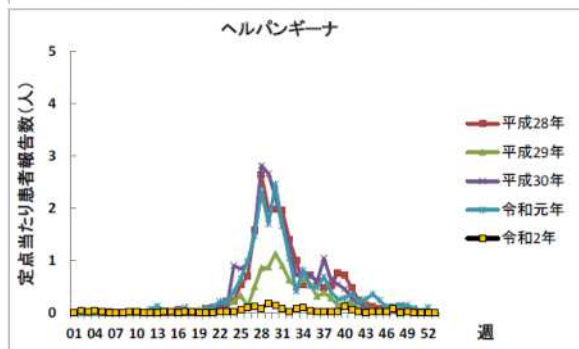
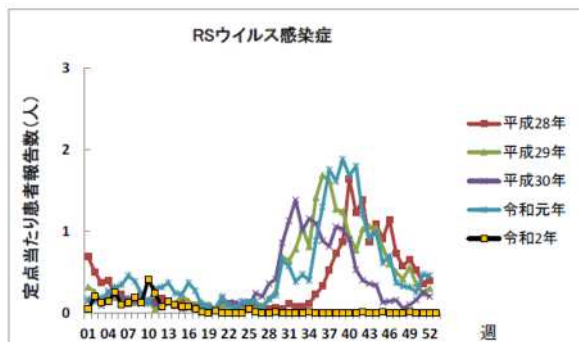


エイ子さん 50週あたりって12月頃ですね？

Dr.K そうよ。1月に第1週から始まって、12月末に第52週で終わるの。

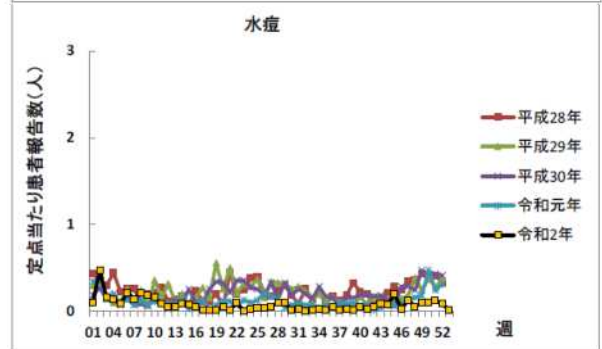
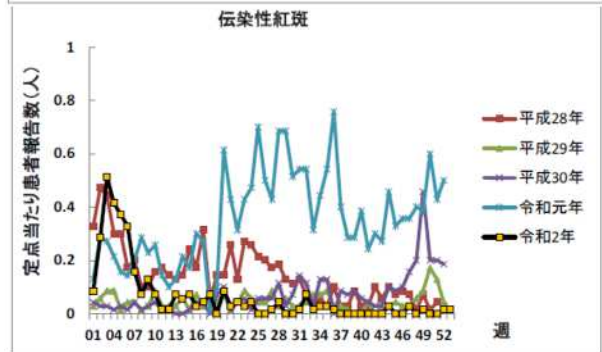
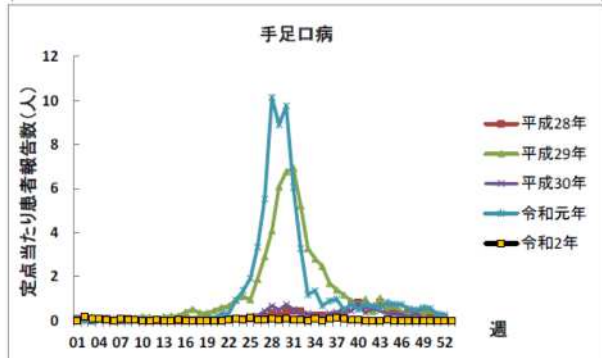
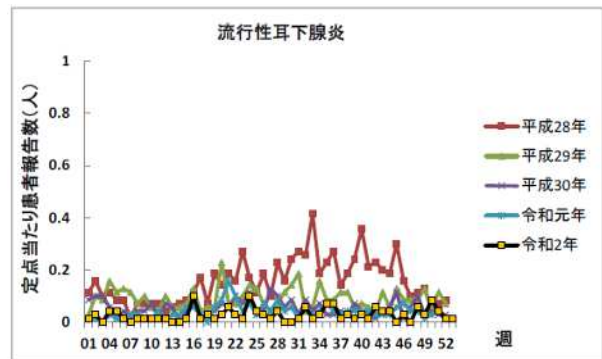
エイ子さん そうですね。まず令和2年以外は40週の後半から患者が増えてきています。ただ令和2年だけはまったく増えてきていないです。

Dr.K その通りね。そして令和3年になって第1週目から最近の第15週目までもほぼ0のままよ。こんなにインフルエンザが流行しなかった年は聞いたことがないわね。じゃあ次に他の感染症もみせるわね。



Dr.K 二人ともどういう感想を持った？

ケンくん 令和元年夏季に大流行した手足口病がその傾向を示していないですね。



Dr.K そうね。エイ子さん他にはどう？

エイ子さん 例年夏季に流行するヘルパンギーナもその傾向を示していません。

Dr.K そうね。秋に多いRSウイルス感染症も地を這うようなグラフだし、今回見せた他の感染症も令和2年はかなり少ないでしょ。これが昨年のコロナ禍の特徴ね。今回見せたグラフは名古屋市の公式ホームページで毎週木曜日に更新されるからぜひ見てみてね。

